

新入生歓迎遠足

4月30日(金)、春の爽やかな日差しのもと、児童会主催の新入生歓迎遠足が行われました。先日新しく誕生した縦割り班に分かれ、6年生を先頭にJFE旭ヶ丘総合グラウンドに歩いて行きました。行き帰りの危険個所にPTA役員さんを中心に保護者の方が見守りをしてくださり、大変ありがたかったです。到着すると、まず、「1年生を守りきれ!」というゲームが始まりました。1人1人の、ズボンの後ろに赤いビニールテープをつけて、それを敵チームに取られないように逃げ切るゲームです。



最終的には、自分のチームの1年生が何人残るかを競います。1年生のテープを取られないように、上級生がしっかりとガードしてあげる姿が微笑ましくもあり、頼もしくもありました。

次に、「言葉集めゲーム」をしました。公園のいたる場所に隠されているカプセルに入ったお題を各班で見つけます。そのお題に書いてあることにチャレンジし、チャレンジに成功すると一文字手に入れることができます。10か所の言葉を集め、隠されているメッセージを解き明かします。ゲームでは、縦割り班のみんなが協力して、一つ一つのお題をクリアすることができていました。隠されていたメッセージは、「にゅうがくおめでとう」でした。みんなで1年生の方を向いて、メッセージを言うと、大きな拍手が起こりました。そしていよいよ待ちに待ったお弁当です。しっかりとソーシャルディスタンスをとり、食べる前にはおしぼりで手を拭くと同時に、アルコールによる手指消毒もして、美味しいお弁当を頂きました。残念ながら、お弁当のあと遊ぶ時間はあまりありませんでしたが、6年生を中心として、縦割り班、そして全校の子ども達の絆が深まった、素敵な1日となりました。



Q&A「タブレットの使い方」

4月にタブレット学習が始まり、子ども達が教室や家で、タブレットを使う姿が見られるようになってきました。しかし、それに伴い、機器のトラブルや、使用上の疑問点も、数多く学校に寄せられるようになってきています。そこで、寄せられたご質問に対して、紙面でお答えさせていただきます。

- Q: 持ち帰りの際は、手提げに入れさせていますか。ランドセルに入れさせていますか。
A: 持ち帰り方は、学年に応じて安全に持って帰られるよう、学年によって指示が出ています。ただし、雨天時、濡れないように気をつけてください。
Q: タブレットが重たいため、教科書など置かせて帰らせていますか。

- A: 家庭で使わない教科書は学校に置いて帰ります(音読で使う国語の教科書以外)。低学年は、どの教科書を持ち帰るか、通信等で保護者にお知らせします。
Q: 掃除中のタブレットの取り扱いをどうしますか。横にかけると、机を運ぶときに落ちる可能性もあり心配です。
A: 4時間目終了後、ロッカーにしまうよう指導します。
Q: 落とすリスクのことを考え、タブレットは持ち帰らず、家のパソコンでログインしてもよいですか?
A: ログイン自体は構いませんが、学校で多くの人数が充電することが難しいため、タブレットの充電は、各家庭でお願いします。
Q: 家に帰ってWi-Fiに接続すると、学校用で再接続しなければいけないのですか。
A: 家でWi-Fiに接続すると、学校のWi-Fiにつながらないケースがあります。Google側の問題とのことです。現在解決策を調査中です。
Q: タブレットは毎日持ち帰らせますか? 持ち帰りたくない児童は、置いて帰ってはだめですか。
A: 防犯上、安全に保管する場所がない為、基本的に全員持ち帰ります。

Q&A「体育参観日について」



- Q: 当日、保護者の駐車場はありますか。
A: P棟跡地に停められます。
Q: 上の兄弟が高学年にいますが、下校が12時のため、家で昼食を食べさせていたら体育参観日に間に合いません。学校に残らせることは可能ですか。
A: 残らせて、家庭科室で弁当を食べることが可能です(あおぞら教室の児童を除く)。高学年体育参観のため、1~4年生の弟妹で、学校で待機を希望される場合は、担任にお知らせください。また昼食後は、家庭科室までのお迎えをお願いします。
Q: PTAで前日準備を行う予定ですが、何をすればよいですか。
A: テント張り・入退場門の設置をお願いします。PTA本部から連絡が届きます。15時小学校グラウンド集合となります。
Q: 体育参観日の準備体操の場所はどこですか。
A: トラック内で行います。保護者の皆様に向けて、挨拶もその場で行います。

プログラミング的思考と「家事手伝い」

タブレットの配付と共に、新しい学習指導要領では「プログラミング教育」が提唱されています。これは、プログラマーを養成するためのものではありません。子ども達に、論理的思考力(プログラミング的思考)を育てるためのものです。なんだか難しそうなお話ですが、実は「達成したい目的のためにどうすればよいか」という思考力を高めることが求められているのです。例えば、「今から作る料理を手際よく、しかも片付けも同時に済ませるためには、何をどういう順番ですれば、片付けと料理の完成が同時になるだろう?」「この部屋の片づけを最短時間で終わらせるためには、どこから手を付ければ最も効率的だろう?」などという、日々の問題解決の場面から「論理的思考力」の基礎は養われます。子ども達に、しっかりと家事手伝いを任せることも大切な学習なのです。

